

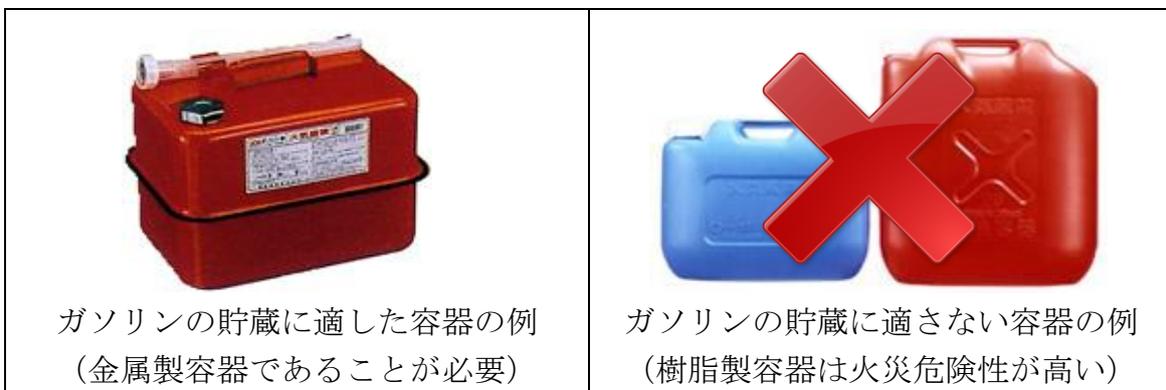
ガソリンの貯蔵・取扱い時の注意事項

《ガソリンの特性》

ガソリンは気温が -40°C でも気化し、静電気等の小さな火源でも引火して爆発的に燃焼する物質です。

《貯蔵・取扱い時の注意事項》

- ① ガソリンを取扱う周辺では、**タバコ等の火気や火花を発生する機械を使用しない**ようにしましょう。引火し爆発する危険性があります。
- ② ガソリンは静電気での着火を防ぐため**金属製容器**で貯蔵しましょう。
- ③ 貯蔵し取扱う場所は、**高温にならず直射日光の当たらない通気の良い場所**としましょう。
- ④ ガソリン容器を使用する時は、取扱説明書等を書いてある容器の操作方法を確認して、こぼれ・あふれ等がないよう注意しましょう。



露店における火災予防のチェックポイント

- 周囲には可燃物や危険物を置かない。
- ガス漏れを防ぐため、ゴムホースはガス専用の物を使用し、確実に締め付け、劣化しているときは交換する。
- ガスボンベは直射日光や火気の近くを避け、倒れないよう鎖等で固定する。
- 消火器を準備する。
- 取扱説明書（こんろ、ガスボンベ等）の安全事項を必ず守る。
- 電気コードはタコ足配線にしない。

